

北海道地区におけるCJD発症状況

研究分担者：（北祐会神経内科病院）（森若文雄）

	孤発性CJD	硬膜移植後CJD	変異型CJD	遺伝性CJD
北海道地区 (137名)	98名(71.5%) 69.8±10.1歳	13名(9.5%) 56.2±15.9歳		26名(19%) 72.2±10.7歳
全国 (1,222名)	922名(75.5%) 68.2±9.6歳	80名(6.5%) 56.5±16.0歳	1名(0.1%) 48歳	220名(16.7%) 65.5±13.9歳

解 説

- 平成11年4月から平成23年12月までの13年間の期間で173名のサーベイランス調査を実施し、137名のCJDが確定された。
- 北海道地区でのCJDは、孤発性CJD 98名(71.5%)、遺伝性CJD 26名(19%)、硬膜移植後CJD13名(9.5%)であり、全国調査との比較では遺伝性及び硬膜移植後CJDがやや多いが、ほぼ同等の内訳を示した。